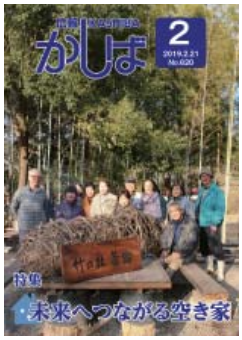
広報 KASHIBA
かしば
2
2019.2.21
No.620

特集

未来へつながる空き家

今月の表紙



今月の特集は「空き家」についてです。関屋桜が丘自治会では空き家を地域の皆さんで改修し、新たな場所に生まれかわらせる取組が行われています。

今、「空き家」について考えてみませんか。

ひとの動き
—1月末日現在—

人口	79,473人（前月比＋３人）
男	38,032人（前月比－20人）
女	41,441人（前月比＋23人）
世帯数	31,232世帯（前月比＋７世帯）

香芝検定
知っとこかしば!!
certificate examination for KASHIBA

平成２８年度に本市が実施した空家等実態調査によると、市内の空き家のうち、老朽化が進行している、または放置しておくと周辺の生活環境に悪影響を及ぼす状態である空き家は何戸確認されているでしょうか。

① ８戸

② １２戸

③ １６戸

④ ２０戸

（答えは１３ページにあります）

CONTENTS
もくじ

もくじ……2

市政トピックス……3

①京都府京田辺市と災害時相互応援協定を締結

②市立幼稚園・小・中学校のエアコンについて
６月の設置を予定しています！

特集……4

未来へつながる空き家

平成３０年度香芝市成人式
新たな門出……8

ひと◇まち◇かしば……9

○香芝市マラソン大会

○二上山博物館スポット展示

○年の初め、昔の遊びを体験しよう

○消防出初式

住まう香芝 vol.56 …… 10

今すぐ設置！　火災警報器

イキイキ！香芝っ子…… 12

欢迎　来到　関屋小学校！
ようこそ　関屋小学校へ！

市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング…… 13

市ホームページでも広報かしばをご覧になれます。
URL　http://www.city.kashiba.lg.jp/
「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。
詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。
☎ 76 － 7179

次回発行は、お知らせ版３月５日（火）広報かしば３月２２日（金）

市政トピックス①

京都府京田辺市と

災害時相互応援協定を締結

◆問合先　市役所生活安全課　☎４４－３３０４

●相互応援で円滑な復旧活動が可能に

本市は防災対策強化のため、京都府京田辺市と「災害時相互応援協定」を締結しました。この協定は、どちらかの市で大規模災害が発生したときに、応急対策や復旧活動を円滑に実施できるよう、被災した側の要請に応え、支援を行うというものです。

本市と京田辺市は同時被災の可能性が低く、迅速に相互応援が行える距離にあります。

締結式で両市は、大規模災害時の応急対策などに必要な職員の派遣や食料・飲料水などの提供、情報発信などについて協力していくことを確認し合いました。

―協定の概要―

1. 応急対応策などに必要な職員の派遣、資機材の提供
2. 食料・飲料水及び生活必需品の提供
3. 災害時の情報発信協力

▲１月に京田辺市役所で行われた締結式の様子。

京田辺市

総人口：６９，７００人
（平成３０年１２月１日現在）

面積：４２.９２㎢
（本市の約２倍）

京田辺市は、東に木津川、西に生駒山系に連なる甘南備山（かんなびやま）が控える豊かな自然に囲まれたまちです。また、ＪＲや私鉄、バスなどの公共交通に加え、第二京阪道路、京奈和自動車道といった高速道路網も充実しており、本市から高速道路を使用し、**車で約１時間の距離**に位置しています。

市政トピックス②

市立幼稚園・小・中学校のエアコンについて

６月の設置を予定しています！

市立幼稚園及び小・中学校のエアコン設置につきましては、既に工事に着手しており、６月の設置に向けて作業を進めております。

今回の工事により、児童・生徒が実際に利用する普通教室、特別教室、保育室、遊戯室などにつきましては、すべてエアコンが設置される予定となっており、昨年夏のような猛暑が訪れた場合でも、安全な教育環境が提供できるものと考えております。

なお、工事にあたりましては、児童・生徒の安全及び環境に慎重に配慮した上で作業を進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

◆問合先　市役所教育総務課　☎４４－３３２８

特集

未来へつながる空き家

◆問合先　市役所都市計画課　☎４４－３３１５

午前6時30分。真っ暗な中、民家の広場に地域のかたが続々と集まってきます。「おはようございます」「寒いね」などとあいさつしていると、ラジオ体操の音楽が流れ始めました。皆で輪になって体操した後は「おいしいね」と笑い合いながら、皆で朝ごはんをいただきます。

始まりは・・・

ここは、関屋桜が丘自治会にある「竹の杜茶論」。実はこの民家は空き家でした。

「家の前を通るときは子どもたちが怖がって走って通るほどでした」。そう話すのは民家を管理する関屋桜が丘自治会の曽根秀一会長です。地域で空き家が多くなってきたことについて自治会で意見交換をし、「公民館では出来ないことが出来る場所に」と、空き家を改修した新しい「地域の居場所」をつくることを考えられました。

地域にいくつかある空き家の中から場所・広さなどを考慮し、候補地を決められました。地権者のかたに事情を話すと快諾。市外に住んでおり、休みが取れると草刈などに来られていたそうですが、すべてを除去できなくて悩まれていたところでした。

そして自治会では、空き家の除却・利活用について市の補助金制度も利用されました。

左は照明器具を作っているところ。「竹の杜茶論」では、身近にあるものを使って照明器具や机なども作り、買ったものはほとんどないそうです。

空き家が地域の皆が集う場所に

最初は「こんな場所になったらいいな」など、夢半分にあこがれを語っていた皆さん。地域のボランティアが集まって、皆の知恵と経験を持ち寄ることで、少しずつ空き家を手作りで解体・修繕していきました。荒れ放題だった敷地の草木を除去したり、梁を補強したり、壁を張り替えたり。平成30年5月ごろから始め、今では地域の皆が集える場所として生まれ変わりました。

特に改装が終わった和室では、お月見をしたり、クリスマス会をしたりするなど、地域のお年寄りがおしゃべりを楽しんだり、子どもたちが遊んだりしているそうです。ほかにも毎月さまざまなイベントが開催され、市民の憩いの場になっています。

▲毎朝広場でラジオ体操

▲皆でごはんを囲むことも

▲改装した和室で会議

▲空き家について語る曽根会長

ずっと続けていくために

曽根会長は「継続することが大事」と話されます。毎月のイベントなど、運営については「竹の杜茶論」の運営に携わるかただけでなく、この場所に集うさまざまなかたがアイデアを出し合って企画しています。そのときのルールは「出た意見を批判しないこと」。まずはどんなことがやりたいか、皆の意見を出し合うところから始めておられます。

地権者のかたに家の変化について尋ねると「すごく変わりました。近所のかたにご迷惑をかけていることが気になっていましたので、帰るたび木を切ったりしていましたが、短い休みの間にすべてを片付けることができませんでした。曽根さんからお話をいただいた後、直接会って管理方法などしっかりお話させていただきました。信頼してお任せしています。きれいにしていただいて、治安もよくなっているのではないかと思います。家から出ないかたも増えている中、この場所が皆さんのつながりが密になる場所になってもらえればいいなと思っています」と話してくださいました。

曽根会長は「空き家は問題ではありません。空き家は『資源』です。資源を活用することを考えていかないといけないと思っています。内装ではキッチン、広場ではツリーハウスや川床など、やりたいことがたくさんあります。この場所が子どもの遊び場の1つになればいいなと思っています。私はこの場所はずっと未完成でいいと考えていて、その時代に合わせて変化していってほしいと思っています」と今後の展開について語ってくださいました。

以前の「竹の杜茶論」。ボランティアの協力により、解体･修繕が進められ、大きく変貌しました。

空き家化していく背景

空家法では「空家等」とは、建築物またはこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地とされています。また「特定空家等」とは、空家等のうち、次のいずれかの状態のものをいいます。

- 倒壊など著しく保安上危険となるおそれのある状態
- 著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- 著しく景観を損なっている状態
- 周辺生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態

本市の現状

近年、地域における人口及び世帯数の減少や既存の住宅・建築物の老朽化、社会的ニーズの変化や産業構造の変化などに伴い、使用されていない住宅・建築物が全国では年々増加してきています。

住宅・土地統計調査（＊1）によると、本市の空き家は平成20年の3，480戸から平成25年には3，020戸に減少していますが、市内住宅総数の約1割を占めており、適正な管理が行われていない空き家が存在しています。中には、放置すれば倒壊など保安上危険となるおそれのあるものがあり、また衛生面、景観面、生活環境の保全を図る上で、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

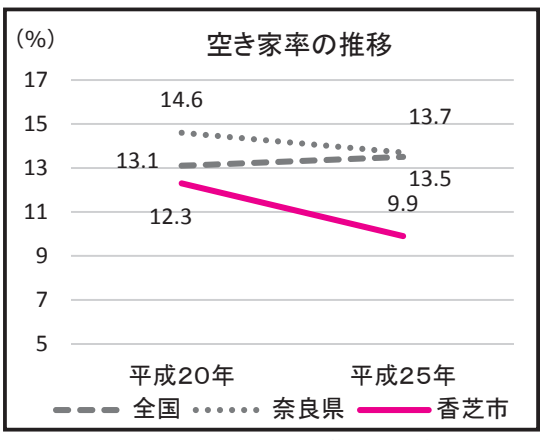
こうしたことを受け、本市は空家等に関する計画的な適正管理の促進、空家等の利活用など、空家等の総合的な対策を推進することを目的として、香芝市空家等対策計画を策定しました。

＊1　住宅・土地統計調査の「空き家」とは、調査日に当該住居にすでに3か月以上住んでいるか、または調査日前後を通じて3か月以上住むことになっている住宅（建築中の住宅などを除く）以外をいいます。

空き家になる原因

空き家の主な発生要因は、転居、居住者の死亡、施設入所・入院などです。高齢者世帯の増加に伴い、将来、施設入所・転居や死亡などにより、空き家になる可能性が高い住宅が増加しています。

空き家対策の第一歩として、空き家が発生する要因をできるだけ抑制し、空き家化を予防することが重要です。



参考：各年住宅・土地統計調査結果

危険

空き家を適正に管理しないと下記のような状態になるおそれがあります。

- 倒壊
- 樹木や雑草の繁茂
- 動物の侵入
- 不法投棄

など

生まれ変わった「竹の杜茶論」。今では地域のかたが集う場所になっています。

空き家にしないために

空き家の管理は所有者の責務

空き家対策の基本的な考え方として、空家法では「空家等の所有者または管理者は、周辺の生活環境に影響を及ぼさないよう、空家等の適切な管理に努めるものとする」とされています。

空き家の所有者などは自らの責任により適切に対処しなければなりません。

しかし、さまざまな原因で対処できず、管理不十分により周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすなどの問題がある一方、使用可能な空き家を有効活用することで地域の活性化につながることも考えられます。「空き家が無くなればよい」という発想ではなく、地域にとっても空き家の所有者などにとっても望ましい解決の方向を探ることが重要です。

管理は月1回が目安

空き家自体が問題ではなく、適正に管理されない空き家が問題を生みます。

今は誰も住んでいない状態の空き家も定期的な点検と手入れにより、建物の老朽化を遅らせることができます。空き家の管理は月1回程度行うことが望ましいといわれています。遠方に住んでいて、管理が困難な場合は、民間事業者が実施している空家管理サービスなどを利用することも1つの方法です。

空き家になったときのことを考えておく

本市では、こうした空き家を除却及び利活用のために利用できる補助金制度（今年度は定員に達したため募集終了）や、相続または遺贈により取得した家や敷地などを売り、一定の要件に当てはまる場合は譲渡所得金額から最高3，000万円まで控除できる制度もあります。また、都市計画課（市役所2階）では空き家の管理方法、除却、または利活用など、空き家に関する相談を受け付けています。

空き家に関連した問題は、市民にとって日常生活に関わる身近な問題です。誰もが空き家の所有者、または管理者になる可能性があります。居住中から空き家になったときのことを考えておくことが重要です。

気軽に相談

空き家相談会

◆日時　4月13日（土）午後1時～4時15分
＊午後1時～2時はセミナーを開催、午後2時15分より相談会となります。
◆場所　市役所会議室棟2階・第6会議室
◆費用　無料
◆申込方法　電話またはFAX・メールで住所・氏名・電話番号を明記し、申し込みください。
＊セミナーは申込不要です。
◆申込・問合先　NPO法人空き家コンシェルジュ
☎0744－35－6211

＊NPO法人空き家コンシェルジュでは、月～土曜日（祝日を除く）の午前9時～午後5時、電話で相談することもできます。

都市計画課
藤原技師

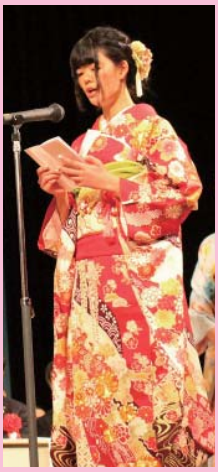
空き家相談会では、空き家の維持管理、活用方法など事例を交えたセミナーが行われます。また、個別にさまざまな悩みを相談できます。

ホームページで空き家に関する情報を掲載していますし、都市計画課（市役所2階）でも相談を受け付けていますので、気軽に相談してください。

平成30年度香芝市成人式

新たな門出

◆問合先　市役所生涯学習課　☎44－3339



1月14日（月・祝）、新成人660名が成人式に出席しました。

会場には、晴れた青空に映える色鮮やかな振りそでや羽織はかま、真新しいスーツ姿の新成人の姿が見られ、周辺は華やかな雰囲気に包まれました。

式典では吉田市長が「今日という日を節目に『自分はどう生きていくのか』を問いかけ、若き日の思いや決意をしっかり胸に刻んで『大人の世界』に飛び込んでいってください」とエールを送り、村中教育長から記念品が手渡されました。これを受け、成人式実行委員会が新成人を代表して、成人としての決意を述べました。

式典の最後には、元プロサッカー選手の楢﨑正剛さんと、日本男子競泳元オリンピック選手の山本貴司さんから、新成人へ向けたお祝いのビデオメッセージが披露されました。

式典終了後、懐かしい友人や両親と記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせる新成人の姿があちこちで見られ、会場は笑顔があふれていました。

香芝市マラソン大会

１月２０日(日)　真美ヶ丘東小学校

今年の香芝市マラソン大会は９４４名のかたが参加し、市内を走り抜けました。朝から小雨が降る中でしたが、ランナーは沿道からの熱い応援・声援を受けながら、雨を吹き飛ばすような熱気で走っていました。

見事第１位でゴールをきった皆さんは下記のとおりです。

なお、今回のマラソン大会の小学生高学年の部の男女の上位入賞者は、３月９日（土）に橿原運動公園で行われる「第１４回市町村対抗子ども駅伝大会」に香芝市代表として出場されます。

部　門		男　子	女　子
３ｋｍ	小学生低学年（１・２年生）	濱口和輝（１３分５４秒）	花光　希（１４分２９秒）
	小学生中学年（３・４年生）	上田康誠（１１分４１秒）	久松来虹（１２分０７秒）
	小学生高学年（５・６年生）	和田拓真（１０分２３秒）	石田暖々花（１１分３９秒）
	一般（中学生以上）	土屋温希（９分４５秒）	坂本有理佳（１０分４５秒）
５ｋｍ	一般（中学生以上）	土坂　舜（１５分３７秒）	竹上日向子（１８分５２秒）
１０ｋｍ	一般（高校生以上）	北　裕介（３４分３３秒）	稲垣水美（４０分１７秒）

＊結果は総合体育館ホームページ（http://kashiba-general-gym.jp/）に掲載しています。
＊当日不参加のかたへの記念品の引き渡しについては総合体育館（☎７６－９５１１）に問い合わせください。

二上山博物館スポット展示

１月５日(土)～２７日(日)　二上山博物館

亥年である今年最初のスポット展示として「年の初め､猪年の考古学」のテーマ展示を行いました。

館内では市内で出土した旧石器時代や縄文時代などの石器などを展示し、当時の狩猟生活の様子を紹介したほか、『古事記』の猪の描かれ方などについての説明などもあり、訪れたかたは古代に思いをはせていました。またおもちゃの弓矢の体験コーナーも設けられ、子どもたちはどちらがうまく飛ばせるか競争していました。

年の初め､昔の遊びを体験しよう

１月６日(日)　尼寺廃寺跡学習館

子どもたちや保護者に新たな発見や懐かしさを感じてもらおうと、身近にある材料を使った遊びを体験する教室を開催しました。会場内にはコマ回しやメンコなどが並びます。子どもたちは二上山博物館ボランティアガイドに「きつく締めながら巻いていくんだよ」とコマの巻き方を教わっていました。外では、紙と糸などを使って自分で作ったたこをあげます。この日は風が弱い日でしたが、走り出すとたこが縦横無尽に宙を舞います。「あがった！」と楽しげな声が響いていました。

消防出初式

１月１２日(土)　ふたかみ文化センター　今池親水公園

新春を飾る恒例行事として、香芝市消防団第１～第５分団及び女性消防団員が参加して、消防出初式が行われました。

屋内で優良消防団員に対する表彰などが行われた後、屋外では装備や服装などを点検する観閲、消防車両と消防団員による分列行進が行われました。

今池親水公園では、放水訓練が行われ、放たれた６色の色鮮やかな水が、集まった多くの観客を魅了しました。

今すぐ設置！火災警報器

住宅火災から命を守ろう！の巻

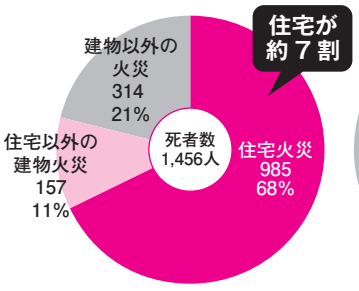
◆問合先　香芝消防署　☎７６－４１１９

今一度考えよう 住宅用火災警報器の重要性

住宅火災での死因は「逃げ遅れ」によるものが多い

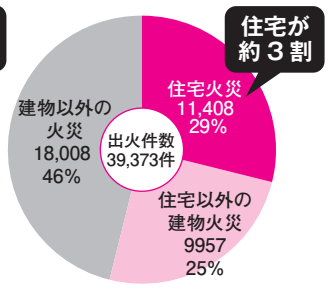
平成29年中の全国の火災件数のうち、住宅火災の件数は全体の約3割となっています。それに比べ、住宅火災の死者数は全体の約7割を占めており、発生件数と比較するとその割合が非常に高くなっているのが分かります。（左表参照）

平成29年中の火災死者数



※ 放火自殺者等を含むすべての死者

平成29年中の火災件数



※ 放火を含むすべての火災

参考：総務省消防庁ホームページ

死亡率が比較的高い住宅火災ですが、その原因として多いのが、就寝時間帯に火災に気がつかず逃げ遅れてしまうことです。

現在は、こうした逃げ遅れを防ぐために、火災による煙を感知できる「火災警報器」の設置が義務化されています。

まだまだ低い設置率

平成30年、市内１００件の家庭を対象に住宅用火災警報器の設置状況を調査したところ、設置されていたのは66件（66％）でした。全国の設置率は81.6％で、本市は大きく下回っています。「命や財産を守るため」に必ず設置してください。また、警報器が鳴ったときの行動についても、家族でよく確認しておきましょう。

すでに設置していても・・・

警報器の寿命はおおむね10年程度といわれています。設置していても正常に作動しなければ、守れるはずの命も守ることができません。定期的に火災警報器が正常に鳴るかどうか作動確認をしましょう。

確認方法は機種によって異なりますが、「本体のひもを引く」「ボタンを押す」などにより、簡単に行うことができます。音が鳴らない場合は、次の２つを確認するとともに取扱説明書もご覧ください。

・電池切れ

乾電池タイプは、電池の交換が必要です。電池が切れそうになったら、音（短い音で「ピッ…ピッ…」）やランプで交換時期を知らせてくれます。早めに新しい電池と交換しましょう。

・本体の寿命

本体もセンサーなどの寿命により交換が必要です。10年を目安に交換しましょう。

日ごろの手入れも忘れずに

本体にほこりやクモの巣などが付いていると、煙を感知しにくくなったり、誤作動することがあります。乾いた布でふき取りましょう。（シンナー・ベンジンなどは使用しないでください）

昨年１年間の火災・救急の状況

平成３０年１月から１２月の香芝市での発生件数は、火災が１８件、救急が３，１５９件でした。

火災

平成30年中の火災発生件数は18件で、平成29年の22件から4件減少しました。

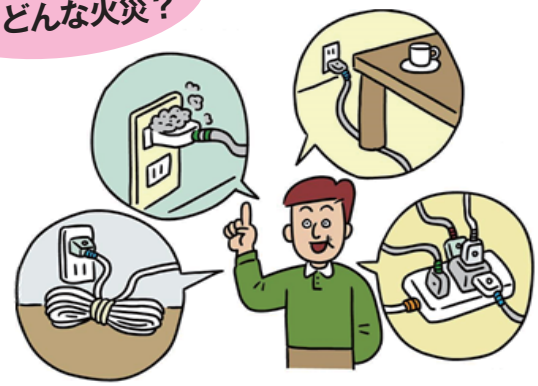
火災種別では建物火災12件（前年12件）、車両火災1件（前年1件）、その他火災5件（前年12件）となっています。

また、建物火災の原因として**電気機器**による出火が主なものでした。

建物火災の原因

電気機器	４件
たばこ	１件
石油ストーブ	１件
ローソク・灯明	２件
その他	３件
不明	１件

電気火災ってどんな火災？



私たちの日常生活に欠かせない電気製品ですが、誤った使用方法や、使用環境によって思いがけない火災を引き起こしてしまいます。電気火災を防ぐポイントに気をつけ、日ごろから身の回りの電気の安全を心がけましょう。

電気火災を防ぐポイント！

①コンセントにほこりをためない
②たこ足配線をやめる
③プラグの押しつけや、配線の踏みつけをしない
④配線コードを束ねない

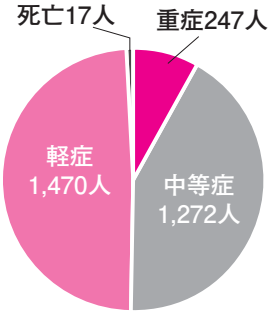
救急

平成30年中の救急出動件数は、３，１５９件（前年比１１０件増）、搬送人員は３，００６人（前年比１４３人増）で出動・搬送ともに過去最高となりました。

救急車の適正利用にご協力をお願いします

平成30年中の救急自動車による搬送人員の内訳を傷病程度別にみると、軽症が１，４７０人で48．９％で、依然として軽症者の割合が高い傾向がみられます。

傷病程度別搬送人員の内訳



救急車の安易な利用は、真に必要な方への救急車の到着の遅れにつながります。

救急車を呼ぶべきか、病院で診察を受けるべきか、近くの医療機関は、など迷ったときは、奈良県救急安心センター相談ダイヤル「#７１１９」に問い合わせてください。

いざというときの安心のために、救急車の適正な利用に協力ください。

３月１日（金）～７日（木）　全国春季火災予防運動

『忘れてない？　サイフにスマホに　火の確認』

平成３０年度全国統一防火標語

1月18日（金）、関屋小学校は海外から学生を受け入れ、国際交流や相互理解を深めようと中国四川省にある成都嘉祥外国語学校と学校交流を行いました。

まず体育館で、歓迎のアーチや「欢迎来到　関屋小学校（ようこそ　関屋小学校へ）」と児童が中国語で書いた幕を掲げ、拍手で出迎えます。歌のプレゼントをしたり、司会進行役の児童が教えてもらった中国語であいさつしたりするなど、終始和やかな雰囲気でした。

歓迎会の後は中国の児童が各教室に分かれて授業を受けます。各教室では、日本の昔遊びを児童が教えたり、食べ物の模型を見てお互いの言葉でどのように言うのか学んだりと、児童同士が打ち解け、お互いの文化の違いが学べるよう工夫を凝らした授業が行われました。身振り手振りなどでコミュニケーションを図る児童たち。どちらの国の児童も、「どうやったら通じるかな」と試行錯誤し、言葉が通じなくても楽しそうに笑い合っていました。

成都嘉祥外国語学校では給食や掃除の時間がありません。給食では、「こうやって食べるんだよ」「おかわりいる?」などと気遣い、友だちと一緒に食べる楽しさを学んでいました。

次は掃除の時間です。児童たちは掃除の仕方について手本を見せます。ほうきや床拭きなどの役割を分担したり、机を協力して運んでいました。最後には打ち解けた様子で、手をつなぎながら教室に向かう様子もありました。

交流を終え、児童は「とても楽しかった」「言葉が通じなくてどう言えばいいか大変だった」と話していました。中国の児童は「日本は礼儀正しいし、特に掃除をすることがびっくりしました。このことによっていつも学校がきれいになっていることが分かりました」と感想を述べていました。

市民ペンリレー ◆425

はじめの一歩

西田　祐子さん

香芝市民になり、広報紙で知ったホームビジットで国際交流を始めてから今年でちょうど10年目になります。私は英語がほとんど話せません。興味はあるけど…と踏み出せないでいた私に「留学しなくても、英語話せなくてもできる国際交流はいくらでもある。ゆーならできるよ」と、背中を押してくれたのは当時のＳＮＳ友だちでした。外国人も来るそのサイトで巧みに英語を操る彼女に私はあこがれていたのです。

初めて家に来たのは韓国人の女の子でした。日本人？と思うほど上手な日本語で息子もまだ４歳だった娘もすぐ懐き、楽しい１日を過ごすことが出来ました。それから参加を続け、中国・マレーシア・米国・インド・インドネシア・ポーランド・台湾・ミャンマー・キルギスの10か国、13人の留学生とその友だちとも知り合いました。この10年の間にスマホも普及し、Ｇｏｏｇｌｅ Ｅａｒｔｈで故郷を案内してくれたり、現地のご家族とビデオ通話であいさつしたり、以前では考えられない交流が出来るようになりました。ただ少しの誤算があるとすれば、皆日本語が上手なこととスマホの翻訳や検索機能が優秀で英語が少しも上達していないことかもしれません（笑）

次回は古崎さんにリレーします。

香芝検定のこたえ　①　８戸

平成２８年度に行われた空家等実態調査で、老朽化が進行している空き家が４戸、緊急度が極めて高い（放置すれば周辺の生活環境に悪影響を及ぼす）状態の空き家が４戸確認されています。

☆編集後記☆

今回の特集は「空き家」。特集でご紹介したように、もともと空き家だった物件を人が集う場所へと地域の皆さんが力を合わせて一から作り上げてこられました。

取材を通じて小さい子どもからお年寄りまで市内に住むたくさんのかたと出会いますが、いつも挑戦を恐れないその姿に勇気付けられ、また、人の力強さや優しさを感じます。香芝市民のパワーが少しでも伝わるように今後も鋭意努力していきたいと思います。

＜雅＞

パパッと簡単クッキング！

No.47

調味料を使わない炊き込みごはんです！

梅干ひじきごはん

（１人分２４０ｋｃａｌ）
＊茶碗１膳１５０ｇとする

【材料（作りやすい分量）】

米・・・１カップ
乾燥芽ひじき・・・２ｇ
生しいたけ・・・１枚（１５ｇ）
にんじん・・・２０ｇ
油揚げ・・・１／２枚
梅干・・・１個
ちりめんじゃこ・・・１０ｇ
ゆで大豆・・・２０ｇ

【作り方】

①米を洗い、通常の水加減にする。
②ひじきは水につけてもどす。
③生しいたけは千切り、にんじんは長さ２ｃｍの千切り、油揚げは湯でよくもみ洗いしてから長さ３ｃｍの千切りにする。
④梅干は種を取り、包丁でたたいておく。
⑤ひじきをざるにあげて水を切る。
⑥①に③～⑤と、ちりめんじゃこ、ゆで大豆を入れて炊けば出来あがり☆

＊レシピ協力：食のサポーターかしば

食のサポーターかしばは、より良い食生活を自ら実践し、住民に広めていくために料理講習会などの活動をしているボランティア団体です。

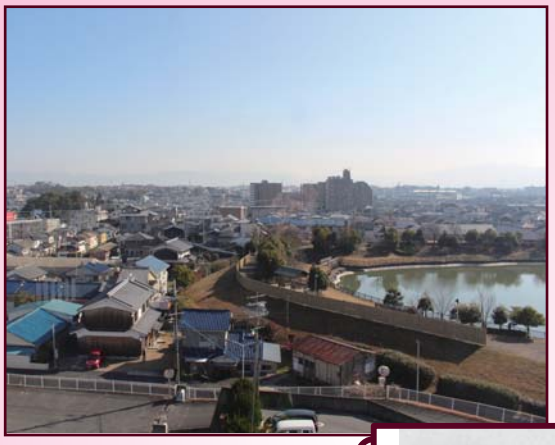
発行／香芝市役所　編集／秘書広報課　〒639-0292 香芝市本町1397番地　☎0745(76)2001　FAX0745(78)3830
✉info@city.kashiba.lg.jp　★市ホームページ(http://www.city.kashiba.lg.jp/)でも広報かしばをご覧になれます。

時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。

詳しくは、市役所秘書広報課まで問い合わせください。

☎76―2001（内線304）

古のかしばへタイムスリップ（いにしえ）
今昔アルバム



現在の様子

市庁舎から東方を望む

昭和５８年
（１９８３年）

市役所保管写真

広告

広告

広告

広告

＊広告及び広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。また広告主である事業者及びその内容について市が推奨等をするものではありません。
＊広告掲載の申込みや問い合わせは、大光宣伝株式会社（☎0120-540-888）へ

この用紙は再生紙を使用しています。
環境保全への取り組みを奨励し、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK